

市宣言
非核平和都市宣言
青少年健全育成都市宣言
交通安全都市宣言

第1273号



考えよう あなたの人権 わたしの人権 21世紀へつなげよう心のネットワーク

第52回人権週間12月4日(月)〜10日(日)

「世界人権宣言」は、基本的人権及び自由を遵守し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々とが達成すべき共通の目標として、1948年12月10日第3回国連総会において採択されました。これを記念して国連は12月10日を「人権デー」と定め加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。そこで我が国では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」として定め、その意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めています。

子どもの人権を守ろう

子どもたちの間での「いじめ」や教師による体罰、親による虐待などは大きな社会問題となっています。市では青少年健全育成都市宣言や子ども憲章を制定し、その下で、子どもの人権を守るために各種の施策に取り組んでいます。

高齢者を大切に心を育てよう

高齢化が極めて急速に進んでいる現在、21世紀には4人に1人が高齢者という超高齢化社会が予測されます。

部落差別をなくそう

部落差別は、日本社会の歴史的發展の過程で形づくられた身分差別に由来するもので、日本国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられてきました。いまだに、こうした問題のため結婚、就職、日常生活などに不当な差別を受けることがあります。

障害のある人の完全参加と平等を実現しよう

障害のある人に対する認識や理解はいまだに不十分であり、「障害のある人も地域の中心」というイメージを醸成しているとは言えない状態にあります。

男女共同参画社会を実現しよう

男女平等の理念は、日本国憲法に明記されているところであり、法制上も男女平等の原則が確立されています。しかし、「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割を固定的にとらえる意識は根強く残り、また妻からの暴力や職場のセクシュアル・ハラースメントなども重大な人権問題となっています。

エイズに対する偏見をなくそう

エイズ、結核、ハンセン病などの感染症の患者、感染者のなかには、病気に加えて社会の偏見差別ブライバシー侵害などに苦しんでいる人が多くいます。市では正しい知識の普及のため各種の啓発活動を行っています。

外国人に対する差別・偏見をなくそう

わが国でも、国際化時代を迎え、在留する外国人が増加する中、言語、宗教、生活習慣等の違いから、就労、アパートの入居の際、差別問題が発生しています。

環境保護の理解を深めよう

人間は長い間、自然の恩恵によって育まれ、今日まで歴史を築いてきました。しかし、大気汚染や水質汚濁など様々な自然破壊の問題が生じてきました。将来の世代の人々が健康で文化的な生活を営むうえで環境の保護は重要です。

人権を考える講演と映画の集い



今年講師の在住地である沖繩県にちなみ町田エイサー、琉球舞踊の出演もありです。

日時 12月2日(土)午後0時30分〜4時
会場 市民ホール
内容 講師 講演「平和をめざし、人権の尊厳を足とから築こう」
前村長・山内徳信氏(写真) / 同和問題啓発映画「青空の」

「木曾境川小学校」に決まる

町田市教育委員会では、学校適正規模適正配置等審議会の答申(1998年12月)に教育委員会では、対応が十分であったり、配慮に欠ける点があったことを重く受け止めたことを受けて、次の統合校に生かされています。

木曾境川小学校は、2001年4月、仮校舎の現忠生第四小学校で開校し、翌年の2002年4月には、現木曾小学校を改造した校舎に移転することとなります。

木曾境川小学校とするか、木曾境川小学校にするか、様々な検討がなされてまいりましたが、その際、市議会文教生活常任委員会、地域の方々から「審議会の答申に現学校名を「木曾境川小学校」として、市広報紙からは、境川小学校に決定したように思われる」と、統合準備会でのア